

## 卷末資料

- I 年表
- II 聞き取り調査記録
- III 意識調査記録
- IV 参考資料

I 年表

II 聞き取り調査記録

# 卒業研究へのご協力をお願い

この調査は

## 「岐阜県中津川市加子母地区における産直住宅に関する研究」

をテーマに、加子母地区の山作りから家造りまでの現状を調査することを目的としています。尚、ご回答頂いたアンケートは卒業研究、むらづくりのための資料作成以外の目的で利用することはありません。

何卒、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

名古屋工業大学社会工学科建築デザイン分野

藤岡伸子研究室 学部4年

渡辺 大貴

## 基礎調査

あてはまる数字に丸をつけてください。

### ■性別

1：男性                      2：女性

### ■年齢

{ }  
{ }

### ■職業（役職）

1：林業      2：製材業      3：工務店      4：その他（                      ）

### ■住んでいる区域

1：小郷      2：小和知      3：二渡      4：番田      5：中切  
6：上桑原      7：中桑原      8：下桑原      9：万賀      10：角領

### ■出生地

1：小郷      2：小和知      3：二渡      4：番田      5：中切  
6：上桑原      7：中桑原      8：下桑原      9：万賀      10：角領  
11：加子母外（                      ）

※後日内容を確認したい場合がございますので、差し支え無ければ、連絡先を教えてください。

### ■お名前

{ }  
{ }

### ■連絡先

{ }  
{ }

卒業研究アンケート ver.1

「岐阜県中津川市加子母地区における産直住宅に関する研究」

1. お仕事の基本項目

■現在のお仕事をされるようになったきっかけは何ですか。

{

}

■お仕事でこだわっていることは何かありますか。

{

}

■現在のお仕事でやりがいを感じることは何かありますか。

{

}

2. 産直住宅の質問事項

■産直住宅を意識してお仕事をされていますか。 Yes ・ No

→「Yes」を選ばれた方

：具体的にどういった活動をされていますか。

：産直住宅の良さはどこにあると感じますか。

→「No」を選ばれた方：意識していない理由は何ですか。

{

}

■産直住宅が抱えている問題点は何だと感じていますか。

{

}

■産直住宅でお施主さんに伝えたいことは何ですか。

{

}

※何かご意見ございましたら裏面にご記入ください。

# 卒業研究へのご協力をお願い

卒業論文題目：「岐阜県中津川市加子母地区における産直住宅に関する研究」

## ■研究の目的

卒業論文のテーマとして加子母地区の産直住宅を研究させていただきたいと思っております。本研究は、加子母地区の産直住宅の取り組みに注目し、産直住宅関係者への意識調査により、加子母地区の産直住宅活動における課題と展望を明らかにすることを目的としています。

尚、ご回答頂いた情報は卒業研究、むらづくりのための資料作成以外の目的で利用することはありません。

何卒、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

名古屋工業大学社会工学科建築デザイン分野  
藤岡伸子研究室 学部4年 渡辺 大貴

**基礎調査**

■お名前

{ \_\_\_\_\_ }

■性別

- 男性                       女性

■年齢

{ \_\_\_\_\_ }

■住んでいる区域

- 1：小郷              2：小和知              3：二渡              4：番田              5：中切  
6：上桑原              7：中桑原              8：下桑原              9：万賀              10：角領

■出生地

- 1：小郷              2：小和知              3：二渡              4：番田              5：中切  
6：上桑原              7：中桑原              8：下桑原              9：万賀              10：角領  
11：加子母外（              ）

■職業（役職）

- 林業家                       製材業                       工務店  
 加子母総合事務所               森林組合                       その他（              ）

■産直住宅に関わったことはありますか？

- Yes    ·     No

■産直住宅に関わっていた期間はどれくらいですか。

- 1年間               3年間               5年間  
 10年間               20年間               その他（              ）

※後日内容を確認したい場合がございますので、差し支え無ければ、連絡先を教えてください。

■連絡先

{ \_\_\_\_\_ }



卒業研究 意識調査

「岐阜県中津川市加子母地区における産直住宅に関する研究」

0. 加子母の森林について

■当事者として産直住宅事業に関わったことはありますか。

はい  いいえ

■産直住宅事業に関わっていた期間はどれくらいですか。

1年間  3年間  5年間  
 10年間  20年間  その他 ( )

1. 産直住宅事業における希望について

■産直住宅事業に期待していることは何ですか。

山林管理意識の向上  加子母の認知度向上  木造住宅の需要拡大  
 東濃ヒノキの付加価値向上  産直住宅の受注量増加  外貨獲得  
 村内連携強化  雇用拡大  販路拡大  その他 ( )

2. 産直住宅事業の課題について

■産直住宅事業の仕組みについて何か問題点を感じることはありますか。

はい  いいえ

■障壁となっている問題は何ですか。(複数回答可)

宣伝力  生産力(人員)  技術力  資源調達力  
 設備力  コスト  その他 ( )

3. 産直住宅事業の今後の展望について

■今後、新たな取り組みをおこなう計画・アイデアはありますか。

はい  いいえ

■取り組みの内容を教えてください。(複数回答可)

宣伝事業  販売経路拡充  設備投資  
 他団体との連携事業  その他 ( )

0. 加子母の森林について

1. 産直住宅事業における希望について

2. 産直住宅事業の課題について

3. 産直住宅事業の今後の展望について

卒業研究アンケート ver.2

「岐阜県中津川市加子母地区における産直住宅に関する研究」

1. お仕事の基本項目

■現在のお仕事をされるようになったきっかけは何ですか。

[ ]

■お仕事でこだわっていることは何かありますか。

[ ]

■現在のお仕事でやりがいを感じることは何かありますか。

[ ]

2. 産直住宅の質問事項

■産直住宅を意識してお仕事をされている人を知っていますか。 Yes ・ No

→「Yes」を選ばれた方

：宜しければお名前をお教え願えませんでしょうか。

[ ]

■産直住宅が抱えている問題点は何だと感じていますか。

[ ]

■産直住宅による市場への影響は何かありますか。

[ ]

3. 市場の質問事項

■市場はどういった運営方法をとっていますか。

[ ]

※何かご意見ございましたら裏面にご記入ください。

III 意識調査記録

聞き取り日時：2016/11/09（水）		聞き取り場所：加子母総合事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	58
1	内木哲朗	出生地	東京	現住所	上桑原
		職業(役職)	加子母総合事務所 所長		

### ■産直住宅について

- ・産直住宅は文化・歴史的な側面があり、桧・山の歴史の流れに産直住宅はある。
- ・産直住宅は家売っているわけではなく、工務店で完結しない官民一体の体制が特徴。一つ一つを個別の事業とは考えずに、全体で一つとして考えている。

### ■産直住宅事業における希望について

- ・産直住宅によって、加子母というブランド力が高まり、住宅だけでなく、加子母で生産されるもの全ての付加価値が底上げされ、地域一帯が良い方向へと向かうことに繋がると良いと思う。だからこそ名古屋でイベントを行うにしても付加価値が高いことを積極的に宣伝している。
- ・加子母に来てもらうことで、木材だけでなく地域全体の魅力を感じてもらって家づくりに繋がっていくことを期待している。さらに製品の販売につなげていくなど、地域全体に繋がることを狙っている。
- ・外貨を獲得することで、地域にお金流れ込み、地域経済が活性化する。

### ■産直住宅事業の課題について

- 大壁構造に変わった、デザインが良くない、規模が零細の関係で宣伝力がない、大工さんなどの技術者の後継者不足が課題。
- ・東濃ヒノキの原産地として加子母は知られているが、現在岐阜県全体から出る桧は全て東濃ヒノキのくくりになっており、木曽ヒノキの流れを組んでいる加子母としては、うまみが少なくなっている。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・製材所は製材所で役割分担はできており、桧柱を挽く、板を挽く、杉を挽くということで細分化はできている。しかし全体の流れとしての繋がりはみえていないため、今後は、情報をたえず共有して、動いていくとさらに力が出てくるのではないかと。

聞き取り日時：2016/11/02（水）		聞き取り場所：加子母総合事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	59
2	梅田紳一郎	出生地	上桑原	現住所	上桑原
		職業(役職)	加子母総合事務所 所長補佐		

### ■産直住宅事業（大黒柱贈呈事業）について

・市の方に行く前に産直住宅の担当をしており、創成期には一番若手として、サポート役をしていた。大黒柱贈呈事業では、黒塗りの車を運転して、村長さんと神戸とかの現場までいった。件数が増えたため、村長だけでなく、課長も交代制で行くことになり、一年で10~20件ぐらい場所に行った。元々は加子母独自の事業であったが、途中から岐阜県がその取り組みに注目し、県産材の需要拡大を目的に、県産材を使ってくれた施主に県、村、工務店が1/3ずつ負担して補助金を出す制度をつくった。始ってから1~2年で大黒柱を使う住宅が少なくなったため、床柱や桧柱、上がりかまちなどの他の材になっていった、現在、やっている贈呈事業は、遠くても愛知県、三重県あたりまで。

### ■産直住宅事業における希望について

・行政的には木材が売れることで税収増加、仕事が増えることで雇用拡大につながってほしい。  
 ・産直住宅によって、加子母の認知度が上がり、定住促進につながることを期待したい。人が住まないと山を守っていけなくなってしまう。だからといって来た人に山の管理をしてもらうまでは期待しないが、人が多い方が地域の活気につながる。

### ■産直住宅事業の課題について

・宣伝力は弱いと感じる。普通の木造住宅を建ててるだけなのに、桧の家って聞くだけで高いイメージを持たれてしまう。木を持って行って木造住宅を建てただけでなく、加子母っていう地域をひっくるめて売り出す必要がある。あなたがこの木を使って住宅を建てることで、地域の自然を守り、あなた方の自然環境を守ることにつながること宣伝しているが、どうしても大手に宣伝力に負ける。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

・若者の感性を活かした空き家の積極的な活用を考えている。利点として、他の地域にも空家は多い地域に加子母の空き家のモデルを広めていくことで、産直住宅も関わっていける可能性もあると思う。

## 意識調査表

聞き取り日時：2016/11/09（水）		聞き取り場所：加子母総合事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	50
3	伊藤満広	出生地	番田	現住所	番田
		職業(役職)	加子母総合事務所 所長補佐		

### ■産直住宅について

・担当し始めた平成 15 年頃はまだ、質の良い新築をどんどん建てて全国展開を加速させていく時期であった。阪神大震災があって、木造住宅について批判的な意見もあったけど、産直業者は懸命に誤解を払拭しようとした。

### ■産直住宅事業における希望について

・「外貨獲得」産直住宅の仕組みとして、工務店が一軒建てると、電気屋、設備屋、瓦屋を加子母の商工業者をまとめてパッケージで仕事をするため、裾が広く、波及効果があったため、外貨を獲得しやすい仕組みだった。創成期は、地元の雇用の創出するため、産直住宅は看板事業として行っていた。

### ■産直住宅事業の課題について

・産直住宅で地域間競争を行っていたが、補助金を得るために県産材のくりにされてしまい、東濃ヒノキのブランド力の低下を招いてしまった。そのあたりから流通・生産の仕組みが変わってしまった気がする。

・昔は大手への対抗手段として、東濃ヒノキの良材を使っているという PR が出来たが、今では産地というものがメリットにならなくなってしまった。逆に材の話をするとういと思われてしまう。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

・隙間分野を見つけて、共感し合えることどう繋がれるかが重要。設計士やデザイナーといった同じように隙間を突いていく人たちをパートナーにしてネットワークをつくっていくことで新しいアイデアを出していきたい。そういう取り組みによって加子母の工務店でしか建てられない家づくりが出来たら理想。

## 意識調査表

聞き取り日時：2016/11/05（土）		聞き取り場所：中島工務店			
No.	名前	性別	男性	年齢	65
4	中島千秋	出生地	小郷	現住所	小郷
		職業(役職)	中島工務店 元産直住宅担当		

### ■中島工務店の産直住宅について

・昭和 60 年ぐらいから本格的に始めて、東京に支店を出した。最初は森と緑の見学会を加子母村とかしもひのき建築協同組合とともにやっていたが、規模が大きくなったため、水と緑の見学会を独自にやりはじめた。これは新築で木造住宅を考えている人を加子母村に来てもらって勉強会を開く。勉強会だけでなく、実際に山へ登ったりして体験してもらって木造住宅を考える意欲をもってもらう。そういったやりとりの中で意思疎通が出来るようになったお客さんと仕事をする。加子母の自然がキーワードとして交流していく。

### ■産直住宅事業における希望について

・当時の村長に、加子母には木材があり、製材所もたくさんあるけど、柱・梁を売ってるだけになっている。加子母には他にも大工や左官の人も多くいたため、みんなを組織して、最終製品をエンドユーザーに向かって売り込まないと、木材を売るだけでは加子母は残っていけないと言われた。つまり当時は加子母の生き残りをかけた取り組みであった。それもこの地区でやったら駄目で、大都市で売り込むことが求められた。

・産直住宅によって山を守る取り組みにつながらないと思う。

### ■産直住宅事業の課題について

・作り手も勉強しており、理念も工場も整備されているが、十分に認知されていない。認知されていない理由は、戦後は大手がつくったシステムがあるため、勝ることが難しい。

・一番の問題点は、日本の自然をいかに守るかが問題。日本では守らないといけなと言われてから 40~50 年経っているが、何も整備されていない。山間地域が過疎化し、山を管理できなくなってきている。それができないと日本自体が危ない。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

・作り手が一生懸命勉強したため、今後の住宅の種類は産直形式になると思う。

・地域を支える若い人材を増やし、育成しないといけない。

・行政の本格的な支援をお願いしたい。具体的には道路などのインフラ整備することで、過疎地域の発展に繋がると思う。インターチェンジから降りて 1 時間は遠すぎる。交通の利便性が発展できれば、やる気のある人たちの多い加子母ではどんどん発展していくと思う。加子母などの過疎地域を発展させるためには必要なこと。



聞き取り日時：2016/11/02（水）		聞き取り場所：熊澤建築事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	71
5	熊澤秀雄	出生地	名古屋	現住所	中切
		職業(役職)	熊澤建築事務所 会長		

#### ■かしもひのき建築協同組合について

・工務店同士の飲み会で、仕事の話をしているときに、愛知とか三重で仕事をしたという話から、「みんな加子母の外で仕事してるんだったら、一緒に宣伝する方が効率が良い」ということで、丹羽太郎村長の助言をもとに工務店6社による組合をつくり宣伝を始めた。これがかしもひのき建築協同組合の始まり。この6社は建設業登録をしていて、実績、資金、信頼があるため、丹羽村長も安心して任せてくれた。建築組合がつくられたことにより、村の公共事業も組合内の競争入札で、一番安くできる工務店が行った。

#### ■産直住宅事業における希望について

・住宅の受注を増やしたかった。需要拡大、販路拡大は期待していた。村長から言われていたのは外貨の獲得で、他所からお金を入れることで商工業者が潤い、加子母村が豊かになるといことを言われ続けていた。

#### ■産直住宅事業の課題について

・産直住宅の伸びはない。理由としてはハウスメーカーの宣伝効果に勝てない。最初の売り出し文句が上手い。同じ坪面積でも使う材木の量が違う。こちらは木でガッチリ組もうとするから高くなっていると思う。

・産直住宅はデザイン力が悪い。なぜなら大工の伝統構法の木造住宅を主体に勉強してきたから、発想力が足りない。軒が出ていない家は家じゃないと思ってしまう。ずっと昔から言われてきた。

#### ■産直住宅事業の今後の展望について

・デザイン力がないため、勉強して今風のデザインにしようと思っている。自分はRが好きだから、いろいろ口出ししてしまう。

## 意識調査表

聞き取り日時：2016/11/03（水）		聞き取り場所：辰喜建築工芸			
No.	名前	性別	男性	年齢	43
6	大森昌記	出生地	小和知	現住所	名古屋
		職業(役職)	辰喜建築工芸 取締役		

## ■産直住宅について

- ・自分が受け継いだときは、産直住宅の受注は減少していた。近所付き合いが希薄となり、友人を家に招かなくなったため、立派な家を建てる必要がなくなってしまった。
- ・かしもひのき建築協同組合で会うことはあっても、問題を共有することまでは出来ていない。
- ・産直住宅が広まり、産直の定義として100%国産材をつかうことは難しいところがある。だから県産材60%という線引きになっている。僕たちの的には加子母の木の家をつくりたいけど、加子母の木の家なんていうブランドがあれば良いけどない。

## ■産直住宅事業における希望について

- ・村にお金が落ちる。外貨を稼いでこいというのが、産直住宅の始まり。それが今の時代にはそぐわなくなっている。
- ・東濃ヒノキというか、この辺の加子母の木、木曾ヒノキというものは他に負けない品質を持っていると思う。

## ■産直住宅事業の課題について

- ・輸送コストの問題はある。大工さんは泊まり込みでできるけど。設備系の仕事の人は、泊まり込みでやることはない。近場でやりたいと思っている。
- ・宣伝の仕方が下手だと思う。良い材で良い家を建てることを上手く伝えられていない。

## ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・新しいことは考えたいが、余裕がない。

聞き取り日時：2016/11/04（金）		聞き取り場所：田口正彦さん宅			
No.	名前	性別	男性	年齢	63
7	田口正彦	出生地	中切	現住所	中切
		職業(役職)	(有)田口林産 代表取締役		

### ■産直住宅について

- ・和室のある家がなくなってきて、造作もなくなったため、良い材に対する単価が低下していった。付加価値のある木材の需要が減ったため、挽く本数を増やしてコストダウンをしようと思うけど、それでは大手との勝負にならない。住宅1棟では使う木材も80~100本のため、製材所にとって大きな影響を与えることもなかった。
- ・大工は曲がりの癖である“あて”を嫌うため、密集してまっすぐ育った人口木の若木が向いている。

### ■産直住宅事業における希望について

- ・加子母の認知度向上、木造住宅の需要拡大、東濃ヒノキの付加価値向上、販路拡大。
- ・熊澤建築とは直接見て図面を見ながら打ち合わせをするため、納めるべき材が分かってくる。住宅規模や方向の関係で四方無地の材である必要がない場所には、節が出ていても問題無い場合があるため、使ってくれるようお願いする時がある。お互い持ちつ、持たれつの関係。

### ■産直住宅事業の課題について

- ・柱用の桧しか挽かないから、安くて種類の多い木材を揃えている製材市場に負けてしまう。
- ・昔では大工が木をみて適材適所に配置していたが、いまではそのような技術はなく、瑕疵保証の観点からあてが嫌われる。
- ・仕入れ先が工務店によってバラバラだから100%加子母の材から出ていくわけではない。
- ・見た目が古臭いイメージがある。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・販路拡大は考えているが、桧材にこだわりたい。性能表示的にも縦ものの方が制約が少ない。

聞き取り日時：2016/11/02（水）		聞き取り場所：梅田誠造さん宅			
No.	名前	性別	男性	年齢	41
8	梅田誠造	出生地	角領	現住所	角領
		職業(役職)	梅田製材所 取締役社長		

#### ■産直住宅について

・市の方に行く前に担当していた→創成期には一番若手として、サポート役をしていた。黒塗りの車を運転して、村長さんと現場までいった。神戸とか。仕事内容は各工務店への仕事の割り振り→途中でローテーション形式に。一年で10~20件ぐらい場所を行かないといけなかった。

#### ■産直住宅事業における希望について

・東濃ヒノキの付加価値向上

#### ■産直住宅事業の課題について

・工務店はまだ市場から材を買ってくることがあるため、加子母の製材所同士でもっと連携をとってお互いに足りない材を補うことで、製材所のみで賄うことが出来るようになれば良いと思う。完全に行うことは難しいけど、100%に近づけることは理想。  
・柱用の3mを挽く製材所が多い。

#### ■産直住宅事業の今後の展望について

・市場に売ることは辞めて、直接工務店に出さないといけないと思っている。理由としては市場の営業力が弱いことと、市場に出してしまうとどういうものが売れるのか分からなくなってしまう。究極的には大工を雇って自分のとこで建築までやる。  
・海外に売っていくことも視野に入れている。韓国の桧ブームに乗ることも考えているが、木材ではなく、最終製品にしてから売り出さないといけないと思っている。

聞き取り日時：2016/08/19（水）		聞き取り場所：加子母総合事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	40
9	安江正秀	出生地	万賀	現住所	東白川村
		職業(役職)	専業林家		

### ■産直住宅について

- ・ どのような木で、どのような柱が必要されているのか把握していないといけない。木のあてや径級などの加子母の山のことはほとんど頭の中に入っている。
- ・ 中島工務店のイベントとかで木を伐ることがある。
- ・ お施主さんによっては、大黒柱の木を伐るところを見に来るぐらい熱心な人もいる。

### ■産直住宅事業における希望について

- ・ 山の管理を続ける必要があることを広め、山林管理者や、林業家の後継者不足の問題を解決し、先輩から教わってきたことを次世代に伝えていきたい。

### ■産直住宅事業の課題について

- ・ 工務店や製材所が市場を通して直接注文が来る場合があり、金額は良いけども、時期や量などで単価が見合わない場合があるため、細かな注文をされると困ってしまう。要求に合わない木であった場合に責任の問題が出てくるのも困る。製材所と比べると単価が高くなってしまう。
- ・ 木工所で使う板は売れるが、柱が売れないため、製材所によっては、柱が溜まり続ける。
- ・ 国産材を使わないで住宅が建ってしまう時代になってしまった。
- ・ 施主や大工、地域、用途によって求められる樹種が異なるため、毎回 100% 同じ樹種は難しい。
- ・ 製材所に出すにしても、市場に出すにしても出す材の基準は変わらないため、差別化が図れない。
- ・ 完結型林業といっても、他所の材が混じっており、産直の定義が曖昧になってしまっている。
- ・ 産直住宅は竣工までの期間が長く、コストもかかる。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・ ぶっちゃけ、市場に出すと手数料が取られるから直接出したい。市場で売れない木には誰も手を出さなくなってしまう。
- ・ 実際に加子母の山をみてもいたい。そして山を守る意義を感じてもらえると良いと思う。

## 意識調査表

聞き取り日時：2016/10/26（水）		聞き取り場所：加子母総合事務所			
No.	名前	性別	男性	年齢	67
10	古田徹	出生地	角領	現住所	角領
		職業（役職）	半農半林		

## ■産直住宅について

- ・役場み勤めていた時に、大黒柱贈呈事業に課長として出席するなどの関わりはしていた。東京から神戸まで行った。当時の課長クラスがローテーションを組み、議員の人も連れていった。
- ・役場はサポートする側にいる。

## ■産直住宅事業における希望について

- ・創成期には口コミでどんどん広まってほしいという期待は抱いていた。
- ・山林管理の意識向上、加子母の認知度向上、東濃ヒノキの付加価値向上、木造住宅の受注量増加も期待していたこと。

## ■産直住宅事業の課題について

- ・若い人が新築の家を経済的に建てれなくなっていると思う。木の値段は安くなってるけど、家一軒の値段はあまり変わっていないから。
- ・市場に入る木の量も少なくなっている。

## ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・これからも市場には出していこうと考えている。
- ・産直住宅によって使い手の存在が分かったため、一時的には山の管理意識が高まった。
- ・若い人たちに山を管理してもらいたい。語るだけでなく、実際に現地に連れて行ってほしい。

聞き取り日時：2016/10/26（水）		聞き取り場所：梅田良作さん宅			
No.	名前	性別	男性	年齢	79
11	梅田良作	出生地	角領	現住所	角領
		職業(役職)	専業林家		

#### ■加子母の林業について

- ・昔は養蚕で生計を立てていたが、中国から生糸が入ってきたことで、3代前の人を整えていた山林で林業をはじめた。
- ・始めの頃は中間業者が来て見積もってもらい木を売っていた。だけど測らずに目分量で見積もられていたため、大径木になると誤差が大きくなってしまっていた。それからは、田畑を借りて自分たちで市場を開いた。その後は大きくなりすぎたため、森林組合に譲渡した。
- ・林業家5人ぐらいで集まって道具の刃の付け方など色々研究した。
- ・加子母の工務店から木が欲しいという連絡が来た。年間に何軒もあるわけではない。

#### ■産直住宅事業における希望について

- ・小さな親切運動をやっていた。

#### ■産直住宅事業の課題について

- ・一人一人の持つ森林の面積が少ない

#### ■産直住宅事業の今後の展望について

.

## 意識調査表

聞き取り日時：2016/11/04（金）		聞き取り場所：田口光之助さん宅			
No.	名前	性別	男性	年齢	73
12	田口光之助	出生地	番田	現住所	番田
		職業(役職)	林業家、優良材生産クラブ前会長		

### ■加子母の森林について

- ・直接、産直住宅には関わってはいない。特殊材の注文で正秀くんが、どの山から切るかを決めていたということはあったと思う。最近「特殊材」を求めること自体がまずない。
- ・式典とかに呼ばれることはあったが、大黒柱の森などでも関わることはなかった。

### ■産直住宅事業における希望について

- ・始まった当初は、今ほど住宅が落ち込むことがなかったから、材はたくさん買ってもらえると思っていた。それが今では自分たちではどうすることもできないほどに落ち込んでしまった。
- ・一件建つことによって、加子母の大工、左官、瓦屋など関係する業者みんなが潤う。今では左官屋さんはいなくなってしまう。壁を塗る建築なんてほとんどなくなってしまった。

### ■産直住宅事業の課題について

- ・ずっと思うのは、木材の自由化、規制緩和が一番の原因だと思う。それは東京の材木屋に優良材生産クラブで視察に行った時に、どんな部材にも使えそうな多種多様な外材が倉庫いっぱい詰まっているのを見た時に「これでは木の値は上がらない。」と確信してしまった。政治の世界にもう少し、先の未来が見通せる人がいたら結果は変わっていたと思う。これほど日本の林業家が苦しむことになるとはと、愕然としている。
- ・コストの問題はあるが、プレカット工場ができたことによってコストを下げるのが可能になり、良い方向に向いていると感じている。

### ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・N工務店は建築組合から脱退して、N工務店としては良かっただろうが、「加子母」という視点で見ると大きな損失だったと思う。みんな、ほんとは一緒にやれば良い方向につながっているが悲しい。N工務店は山もたくさん持っている。



## 意識調査表

聞き取り日時：2016/11/07（月）		聞き取り場所：加子母森林組合			
No.	名前	性別	男性	年齢	65
13	内木篤志	出生地	上桑原	現住所	上桑原
		職業(役職)	加子母森林組合 組合長		

#### ■産直住宅について

- ・東京にモデルハウスを持ってる青森の工務店の産直住宅が手抜き工事による欠陥住宅だったため、産直住宅の評判がかなり落ちた。他にも小さな工務店による不祥事が相次いだため、国により10年の瑕疵担保保証がつき、小さな工務店は維持させるのが難しくなった。
- ・森林組合は加子母の木を1円でも高く売ることが仕事だが、プレカット工場の建設の際に、組合がつくられ、森林組合も入ることを求められ、加子母の木が売れるようになれば良いと思っていたが、担当者に加子母の木は高く買えないと言われたことで、入らなかった。

#### ■産直住宅事業における希望について

- ・産直住宅の概念は、地域の物で地域の人がやることで地域にお金を持っていくこと。大工、左官屋、板金屋などの職人が、材料はもちろん土壁を作る場合は土なども持っていくことで、加子母にお金を入れることが期待された。

#### ■産直住宅事業の課題について

- ・組織力、工務店はバラバラにやってもらって良いけど、経営を考える事務員が必要。
- ・行政のバックがなくなってしまった。
- ・桧をふんだんに使ったり、太い柱を使う建築様式が変わった。

#### ■産直住宅事業の今後の展望について

- ・原木から柱と板がとれるため、工務店と木工所は関連があるが、連携はできていない。森林組合は両方とも取引があるため、仲介役として連携させることができたかもしれない。

聞き取り日時：2016/11/07（月）		聞き取り場所：加子母森林組合			
No.	名前	性別	男性	年齢	50
14	安江恒明	出生地	万賀	現住所	万賀
		職業(役職)	加子母森林組合 市場長		

#### ■産直住宅について

・直接的な付き合いはしていない。森林組合としては関わっていない。入った当初から、山の仕事をつくるために、仕事をしていた。

#### ■産直住宅事業における希望について

・木造の受注量が増えてくれること。特に役ものを使う昔ながらの住宅。それによって東濃ヒノキの付加価値向上につながる。

#### ■産直住宅事業の課題について

- ・産直住宅＝高級住宅という高価なイメージがついてしまっている。
- ・大壁構造になってしまった。役柱が東濃ヒノキの特徴
- ・木が安いから山林管理意識が低下している。
- ・宣伝力も課題。昔からの口コミで紹介がある。良いものをお値打ちで建てれば広まりやすいのかなとは思うけど難しい。
- ・産直住宅の取り組みが他のところでも始ってしまったことで地域間競争が激化した。
- ・施工期間も長くなってしまう。

#### ■産直住宅事業の今後の展望について

・山を維持していくことは大変ということを都会の人に聞いてもらいたい。

#### IV 參考資料

東濃ひのきの家

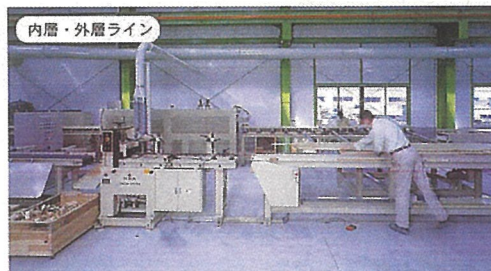
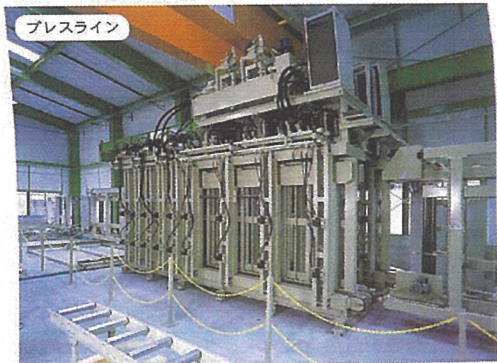
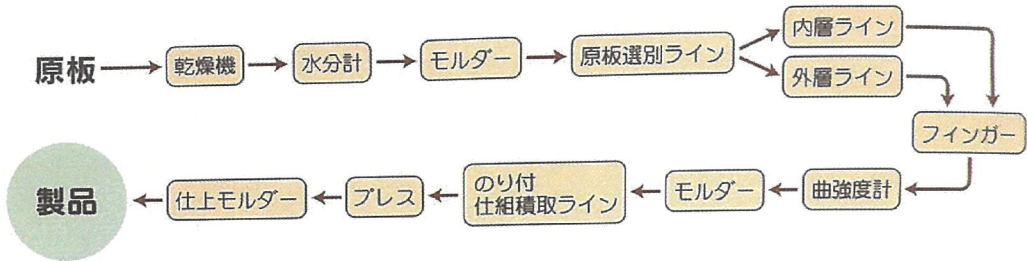


日本の木の家づくり集団

**協同組合 東濃ひのきの家**

## グルーラム工場

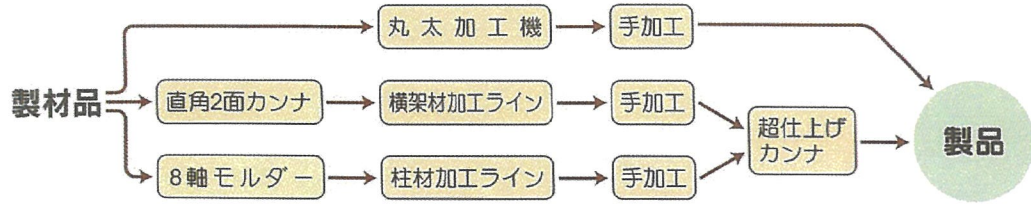
丸太を板に挽き十分乾燥しフィンガージョイントして積層し割れや反りのない太物、長物の建築用材を作る。



製品

**プレカット工場**

木造在来軸組工法の建築構造材の加工をコンピューター制御により自動加工する。



直角2面カンナ



柱材加工ライン



8軸モルダー



手加工



丸太加工機



超仕上げカンナ

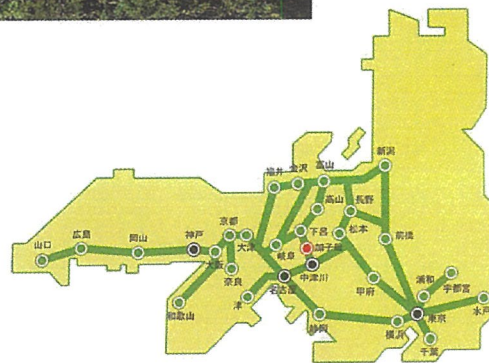


横架材加工ライン

## 加子母村は

十数年来村を挙げて「産直住宅」づくりに邁進してきました。

住宅展示場を開設し、プレカット工場とグルーラム工場を稼働させて国産材100%の建物づくりを目指しております。土台、柱、梁、桁、垂木等の構造材と鴨居、敷居、床、壁、天井等の造作材を私達の体にとって何かしら良い働きをする本物の木材で造りたい、そして日本の山の木がいつまでも価値ある物としてありつづけたいと願っています。



東濃ひのきの家

(協)東濃ひのきの家

〒508-0404 岐阜県恵那郡加子母村2301  
TEL 0573-79-3555 FAX 0573-79-3339



杉の葉を巻いた飯糰を手に。山守の山守は、明徳27年に村人によって建てられた芝居小屋。奇も地元の人々の交流の場として愛され守られている。

杉の小さな苗を植える。100年、200年先を見越えた山守のまなざしがある。

### 山守って何？

寺社の建築から家づくりまで、古くから日本では木が主な資源でした。良材を輩出する加子母は、江戸時代に尾張藩によって開墾地とされ、「唯一の木」として厳しく管理されてきました。軍隊陣営における林政改革では、「六十六年一割之仕立」と呼ばれる伐採計画で、1尺4寸(約42cm)以上の樹以外を木屑五米を生かして7寸〜1尺3寸(約21cm〜39cm)の木は残され、良材を育む持続可能な林業体制が確立されました。こうした山の管理を託されたのが「山守」。加子母の庄屋であった内木家は1730年から代々藩制で山守を務め、1年のうち260日は山に入り、樹や土、地元の文化、暮らしの営みに触れられていたかたの取り組みを継ぎました。山守による徹底した管理のおかげで山が守られ、加子母には樹を中心とする暮らしと文化が形成されました。

**株式会社中島工務店**  
 本社 岐阜県中津川市加子母1095番地 電話0573-79-3131  
 長岡店 岐阜県中津川市北山町加子母字山崎1-1 電話0578-595-1838  
 大府支店 (印子やまもり) 大府市東通町新栄南1-17-26 電話072-728-2400  
 9時〜17時・火曜定休・第2週4日曜営業

彩都やまもり saito yamamori

彩都やまもり saito yamamori



## つながりがはじまる家づくり

### 服部滋樹

(graf代表/彩都やまもりアドバイザー)

### 鷲見昌己

(株式会社中島工務店取締役 関西統括支店長)

#### DISCUSSION ABOUT

神社仏閣、学校など公共施設の建築から土木事業まで幅広く手がけ、蓄積した技術とノウハウを家づくりに活かす中島工務店(本社・岐阜県中津川市加子母)。160haある自社林から伐採し出し、地元で製材した上質の本材と、本を知り尽くした職人の職人が全国に出張する「徹底住宅」をはじめ30年が経ちます。

この秋、岐阜の良材と職人の匠の技が集結した中島工務店のモデルハウス「彩都やまもり」が彩都(大府市箕面市)にオープンします。中島工務店がこれまで実践してきた加子母と郡会をつなぐ家づくりに込められた想いについて、彩都やまもりアドバイザーを務めるgraf代表の服部滋樹さんが聞きました。

#### 住み手と職人。森と人。すべてをつなぐ木の家

服部 滋樹(以下、服部) 御社は地元の木を伐る職人や製材所と連携して、神社仏閣から住宅、公共施設の建設まで様々な建築を手がけられておられます。山から木を伐って下ろして、家が進んで実際に様々な職人がいますが、みんながひとつに結びつく理由は何でしょうか？

鷲見 昌己(以下、鷲見) 中島工務店代表、中島紀子の想いは「地域おこし」なんです。加子母から街に出た人たちがリターンで帰ってきたときに、ちゃんと加子母で働けるように、というのが社長の想い。岐阜にいる職人が、いかに木に関わる仕事でちゃんと生活して、山の仕事を続けられるかを考えているんです。

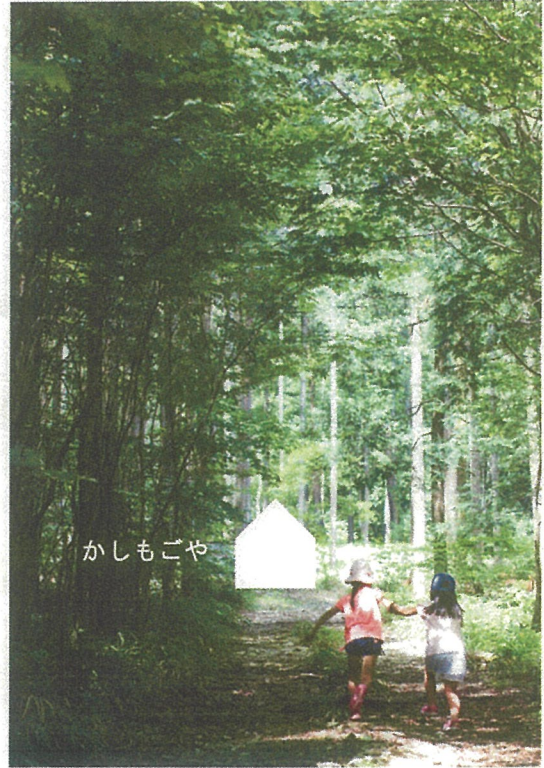
服部 「地域」というバックグラウンドを持ちながら仕事を続ける社風が、今までなかったような気がしますね。御社では●家を建てる職人と加子母で木の伐採から加工まで川上での二役作業の連携を見学したり、家を建てた後は職人と木の次期社を連携して、非営業の世代に譲り渡す取り組みもなされています。こうした中で施工員もつながりが出来て、OB会(開酒ひの会)まで結成されているのには感動しました。

鷲見 開酒ひの会を立ち上げたのは、職主さんに安心してもらおうという考えです。もし家に不具合があったとしても、つながってればちょっと対応できる。私たちがおかしな仕事をすると職人や林業自体を汚してしまうことになりませんから。





ふるさとのある家づくり



加子母子屋モデルハウス  
大阪府箕面市彩都粟生南  
1-17-26

お問い合わせ

加子母子屋  検索

このカタログは「水づかい協力業者による木材利用の促進事業助成金」により制作されています。

## おかえりなさい。

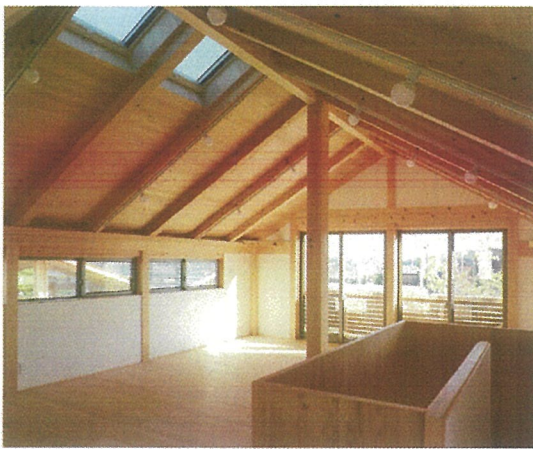
岐阜県中津川市加子母（旧加子母村）には、かつて日本が高度成長期という時代の中で大量生産、大量消費をくりかえし、日本人が長らく守り抜いてきた文化の伝承と共に、人と人の繋がりや様々な生活様式など、今の日本人がなくしかけているものが残っています。旧加子母村は、飛騨山系に囲まれた山間（やまあい）の集落です。そこにはまるで日本人の心の原風景とも言えるような、景色がひろがり、山並みに溶け込む大きな切妻屋根の母屋と、それに寄り添うように離れ（子屋）がひっそりと建っています。そこには田の字型に解放された空間があり、家族のくらしの場として、また人々の集まりの場としても機能し、いつも誰かがいて温かな言葉に包まれています。「加子母子屋」は、まるで母に寄り添う子どもの様にふるさとのある住宅で、無垢のひのきの香りに包まれ、忘れていた人の懐かしさを思い出せる住空間です。都会の生活に疲れたらいつでもふるさとのある加子母に来て下さいね。「おかえりなさい」





しあわせかぞくの  
ちいさないえ。

ごく普通の家族が、ごく普通の自然素材の家で健康で快適に暮らせる、言葉ほど簡単でないけれど、そんなささやかな幸せを何よりも大切にしたい住まいです。通風と採光を確保したコンパクトな生活空間を念頭に、造材場所、適用適場（用途に適したスペース）、材の規格、法規を考慮すると切実に行きつきました。いままでもなく、日本の気候風土に適した住まいの原型です。



見えないところまで、こだわりのひのきを使用しています。  
※ひのきづくし仕様の場合

こだわりのいえづくり。  
～ひのきづくしという選択～

加子母子屋では全ての柱、土台、大引に加え、梁、床板、下地材も含め使用木材全てに岐阜県東部で育てられた「東濃ひのき」を使った、「ひのきづくし」仕様が選択できます。東濃ひのきは木曽檜の天然林を抱える山の岐阜県側で植林された木材で、寒暖の差が激しく、ヤセ地という厳しい環境で育つため、他の土地のひのきと比べ何倍もの歳月をかけて成長し60年以上の長い年月を経て使用されます。目つまりがよく耐久性に優れ、色は薄いピンクで光沢があり、ひのき独特の清純な香りは白蟻を寄せつけにくく、誰もが慣れる高級な木材です。※ハイブリット仕様の場合は、全ての柱、土台、大引に「東濃ひのき」を使用し、その他の材に、柔らかく調湿性に優れた「長良杉」を使用しています。

加子母子屋をつくる人。

栗林 賢次  
栗林賢次建築研究所 代表

服部 滋樹  
graf 代表

鷲見 昌己  
中島工務店 関西統括支店長

加子母には、里山に点在する切妻の風景、清々とした木と水と空気が、うまい食料と素朴な生活があります。その魅力を最小限の建物に込めたのが加子母子屋です。家族が健康で暮らせることの大切さを感じてくれる住まいです。この加子母子屋の開始には、普通のサラリーマン家族が無理せず手に入れることができ、健康に暮らせる住まいを提供し、ささやかながらもご自身の幸せな暮らしを増やしたい、という思いと、加子母子屋を通じて様々な街や家族と繋がることで、その活気や賑わいを取り戻したいという加子母の願いが込められています。都市と田舎が、お互いの良いところを活かし、悪いところを補い繋がることで、日本が元気になると思っています。

加子母子屋は、あらゆる生活シーンに合わせて、レイアウトが可能で、暮らし方に合わせた住まい方をご提案させていただきます。住み始めたころは、お子様も小さいだろうし、そこから10年経ったころ、ずいぶんおとなり方も変わっていることでしょう。加子母子屋には、さまざまなことを可能にするオプションがあります。そのひとつが、私たちgrafが開発したユニット家具です。家具のレイアウトを変えることで、住まい方を一気に更新することができます。また、キッチンや水廻りの難しい部分へも手を入れることができます。まるで道具が勝手に馴染む様に、生活に馴染んでいきます。道具としての家に住まう、育ち、育てる家、それが加子母子屋です。

多くの方に、国産材の良さを伝え使ってもらいたい。そんな思いの中、いつも障害になるのは高層と云う事でした。本当に高い？ 答えは違いました。総工費に対して、木材の占める割合は15%、それが全体を高層なものに押し上げていたとは考えられません。一番の原因は、なんでも出来るが故に、住まい手が希望する間取りを優先して計画された事で無理のある不安定な構造になったり、無駄な空間が出来、コストアップに繋がりました。そこで「DM」研究会に参加し、スケルトン（骨格）とインフィル（中身）を分けて計画する家づくりを学びました。徹底的に効率化を叩きました。その結果、日本民家の原点である、単純な構造で住まい手様の生活の変化に対応可能な家「加子母子屋」が誕生しました。





ただいま。

趣味や住まい方に合わせて、自分の色に染められる住まい。  
 子供の成長や家族構成の変化と同時に、自由に間取りを変えられる住まい。  
 木の香りにつまれた、どこか懐かしくて、なんだか居心地がいい住まい。  
 暮らし方にとらわれず、遊び心を忘れない住まい。  
 使えば使い込むほどに、からだに馴染んでくる、道具のような住まい。  
 素朴な生活をかたちにする、しあわせ家族をつくる住まい。  
 「ただいま！」が言いたくなるいえ。

加子母子屋で、あなたの、あなただけの住まいづくりをはじめませんか？

これは、加子母子屋ではじまる  
しあわせかぞくのものごたり。

加子母子屋を中心に、広がっていくものごたり。  
 夫婦は、どんな暮らしをおくっていくのでしょうか？  
 夫婦には、ターニングポイントと見える転機が何度か訪れます。  
 その時々、加子母子屋の住まいとしてのありかたを  
 時の流れに沿ってお楽しみください。

**【お金のなし】**  
～一生に一度のマイホーム～

結婚 資金計画 打ち合わせ 着工 竣工

引渡し

**【夢のマイホーム】**  
～夫婦と加子母の新生活～  
夫婦(30歳)2人暮らし

第1子♀誕生 第2子♀誕生

新築ほやほやの夫婦。  
 ご主人の年収は、30歳で一般的な430万円。([ 図1 ] 参照)  
 夢はマイホームで家族なかく暮らすこと。  
 現在は、家賃7万円のマンションで暮らしています。  
 (大阪の3LDKの家賃の平均は7万円程。)

典様のお父様が、現在使っていない土地を譲ってくれる(\*1)ようなのですが、  
 新築夫婦は、マイホームをつくることができるでしょうか？

年代	平均年収(万円)
19	142
20	265
25	371
30	438
35	499
40	568
45	638
50	649
55	629
60	460
65	387
70	360

民間給与の実態調査結果(国税局)平成27年(2015年)7月更新版より  
 tabitoin.com/office\_salary/ 参照

加子母子屋なら、30坪1,800万円。(\*3)  
 頭金を300万円として、銀行から1,500万円の融資、  
**毎月7万円の25年ローンで、夢のマイホームが購入できるんです。**  
 (\*※元金均等ボーナス払いなし。)

(\*1) 住宅取得資金の贈与税の非課税特例に該当する良質な住宅(\*2)です。  
 (\*2) 良質な住宅とは、①断熱性能等級4以上または、一時エネルギー消費量等級4以上、  
 ②耐震等級2以上または、免震建築物、  
 ③高齢者等配慮対策等級3以上、以上のいずれかを満たす住宅です。  
 (\*3) 標準間取り、税別価格

加子母子屋は、断熱性能等級4、一次エネルギー消費量等級5、耐震等級2を取得、  
 フラット35Sの金利が適用されます。

間仕切りで仕切らずとも、  
 壁紙と家具に囲まれた、  
 少し静かな書斎。

数人での調理を可能にする、  
 4方向に空間を設けたキッチン。

時には、量収納もダイニングも、  
 リビングの一部となる様な平面構成。

2階平面図  
 廊下と水廻りからの  
 2WAYの動線を確保した、  
 使い勝手の良い夫婦寝室。

玄関直結のゲストルームは、  
 夫婦寝室を介することなく、  
 水廻りを行き来できます。

1階平面図

**【子供の誕生】**  
 ~自然素材に囲まれて~  
 夫婦(40歳)と2人の子供の4人暮らし

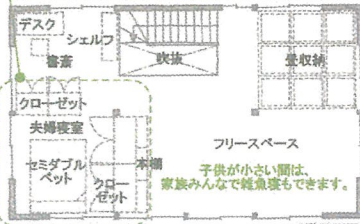


幼稚園入園・卒園

小学校入学

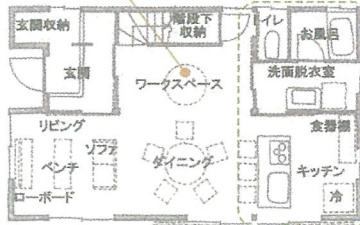
そろそろ自分の部屋が欲しいな……

家具で間仕切った寝室は、家具の上部が空いているため、子供の声や雑音が聞こえやすくなっています。



子供が小さい間は、家族みんなで雑魚寝もできます。

子供がどこでなにをしているかわかる様に、間仕切りを設けない、一体となったLDK。



水廻りの側にキッチンを設置することで、忙しい奥様の為、短い家事動線を確保しています。

**【次の世代への贈りもの】**  
 ~大きくなあれ!~  
 夫婦(45歳)と2人の子供の4人暮らし

ふるさとまつり

家族みんなで加子母の森に行こう!!



加子母子屋は非結型林業を実践しています。加子母では、植林、育林、伐採、選出、市販、経材、乾燥、加工、研究、開発、宣伝といった作業の全てを一貫して行っております。加子母子屋を建てた住まい手様は、次世代への贈物(木)を植え、森林育成の循環の一部を体験する「東葉ひのきの家ふるさとまつり」に参加して頂き、家づくりを完結させます。

**【子供の成長】**  
 ~子供の成長と間取りの変化~  
 夫婦(50歳)と2人の子供の4人暮らし

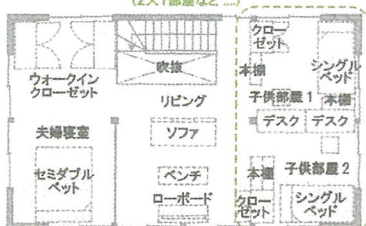


小学校卒業

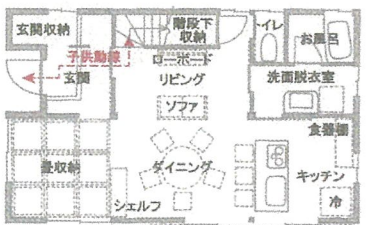
中学校入学・卒業

高校入学・卒業

家具で間仕切っているため、簡単に、部屋のレイアウトを変えることができます。(2人1部屋など…)



家具の間仕切りで、各居室を構成し、セミプライベート空間を確保しています。



帰宅時や外出時に、一度リビングを通る為、目が行き届き、声をかけやすい平面構成。

**【加子母サロン】**  
 ~シニア世代のセカンドライフ~  
 夫婦(55歳)2人暮らし



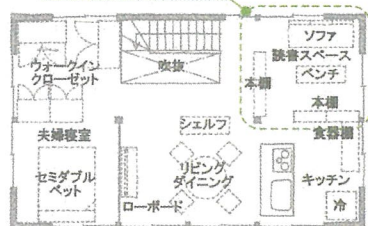
大学入学・卒業

ローン完済

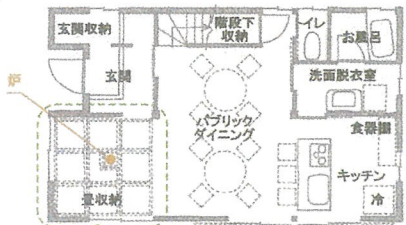
趣味の料理教室開始

子供も卒業して、ローンも完済できて、悠々自適な生活でも送りたいな……

本に囲まれた、静かに読書を楽しめるスペース。



2階に夫婦のLDK、寝室などプライベート空間をまとめています。



4畳半の和室では、趣味の料理を作る際ったり、お料理教室を開催したりできる、パブリックな1階LDK。

**【加子母で介護】**  
 ~親の介護と夫婦の暮らし~  
 夫婦(60歳)と親の3人暮らし

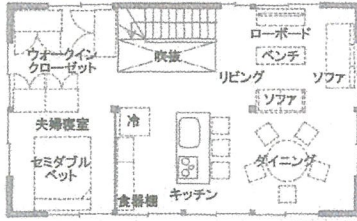
親の介護

親の他界



親の介護と、自分たちの生活は、  
両立できるのか?!

2階のゆったりとした夫婦用LDK。  
家族やお友達を呼んでも十分な広さです。



2階平面図

夜、介護が心配な時や、  
家族や親せきが介護を手伝うときなどに  
利用できるフリースペース。

家族や、ヘルパーさんが料理を  
しているときに、自然と顔が合い、  
会話できるような平面構成。



1階平面図

ベッドサイド水洗トイレ(TOTO)  
配管が小径のもので長く移動が可能で、匂いが気にならない。

**【加子母シェアハウス】**  
 ~4人の住人がシェアする加子母子屋~  
 ルームメイト4人暮らし(夫婦70歳)

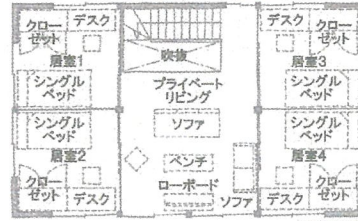
加子母シェアハウスに改装

優良老人ホームに入居



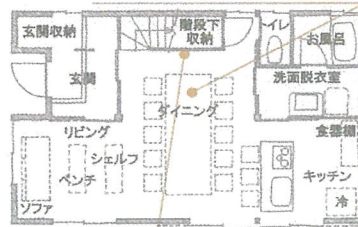
子供たちに負担をかけず、シェアハウスの収益で、  
優良老人ホームに入居しよう。

2階は、プライベート空間として、  
4人分の居室とリビングを配置。



2階平面図

大きなテーブルは、イベントを行う際にも活躍。  
映像を投影する時は、客席に。



1階平面図

白い左官壁に、  
映像をプロジェクション。

あなたはどんな暮らしを描きますか?

ひとりひとり、みんな違った暮らし方をしています。  
本や音楽など、自分の時間を大切にしている人。  
週末には、お友達を家に呼んでパーティーを聞く人。  
趣味のインテリアに囲まれて暮らしている人。  
友達と部屋をシェアして暮らしている人。  
大好きな愛犬と一緒に暮らしている人。

あなたは、どんな暮らし方をしていますか?  
あなたは、どんな暮らし方をしてみたいですか?

加子母子屋なら、それが叶えられるかもしれません。

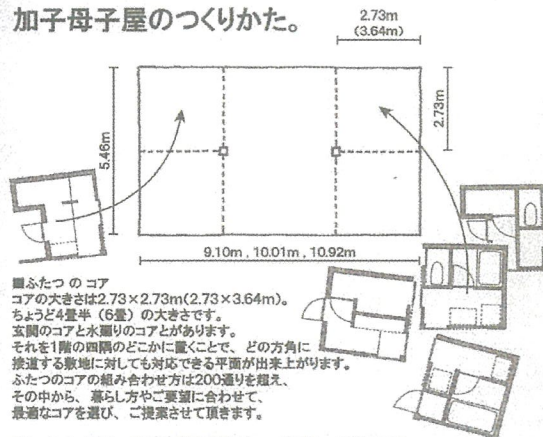
加子母子屋のなりたち。

■つよさとまどり  
 建物にはいつも様々なちからが働いています。  
 建物自体の重さや風のちから、地震のちから、などです。  
 これらのちからを永く、無理なく負担することは、  
 建物の耐久性にも直結します。  
 ちからの流れの本質を見直した結果、単純なつくりになりました。  
 ※耐震等級2を取得しています。(5.46×9.10mの場合)



風のちから、地震のちからには、壁がもちこたえます。 建物自体の重さには、中央の2本の大黒柱がもちこたえます。 つよくて可変的な平面が出来上がりました。

加子母子屋のつくりかた。



■ふたつのコア  
 コアの大きさは2.73×2.73m(2.73×3.64m)。  
 ちょうど4畳半(6畳)の大きさです。  
 玄関のコアと水廻りのコアとがあります。  
 それを1階の四隅のどこかに置くことで、どの方向に  
 接道する敷地に対しても対応できる平面が出来上がります。  
 ふたつのコアの組み合わせ方は200通りを超え、  
 その中から、暮らし方やご要望に合わせて、  
 最適なコアを選び、ご提案させて頂きます。

※( )の寸法は、平面の長辺が10.01m、10.92mのときの寸法。

### 加子母子屋のしくみ。

**加子母子屋**は、加子母の木と自然素材で作り、品質にこだわった家です。四季折々の通風や採光を取り込んで、快適な室内環境を実現し、からだに優しく、地球をいたわる（消費エネルギーの少ない）住まいを目指しました。こだわりの素材、換気方法、住宅性能の一部をご紹介します。

#### 左官仕上げ

内外壁には左官職人の高度な技術による塗壁を採用しています。左官仕上げは、外壁パネルやクロスなどの工業製品にはない、調湿性に優れていて、自然素材ならではの心やさしく優しい風合いをかもしだします。



#### べた基礎

基礎には、「べた基礎」を採用しています。べた基礎は、基礎全体で建物の荷重を受けられるため、安定した構造となります。通常のべた基礎に加え、地中梁をグリット状に配し、大風柱が受ける荷重を地盤へと分散しています。床下には基礎の立ち上がりがないことで、給排水や空調の配管の自由度を高め、メンテナンス性にも優れた基礎にしています。また、べた基礎は、フラット35の仕様規定でもあり、白アリ対策にも効果的です。



#### ロスナイによる床下の室内化

ロスナイは室内の暖気や冷気の熱を回収しながら換気ができるすぐれものです。夏には冷房の冷気を、冬には暖房の暖気を外部に捨てるので、無駄のない冷暖房が可能となり、光熱費が安くなります。ロスナイは基礎の立ち上りを断熱して室

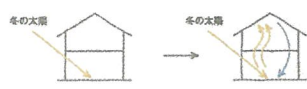
内化した床下に内蔵され、床下も含めて全室内を換気し暖気や冷気を排出します。またロスナイのつくる心地よい微気流は、ヒートショックを軽減し、結露しにくい状態を保ちます。空気の最もよい快適な室内環境で健康生活を応援します。

#### 自然光と軒の出

夏場には、深い軒の出により、高い太陽高度を遮断し、熱を開放することで、熱を遮ります。天窓からは、天井付近に溜まった暖かい空気を放出します。



冬場には、太陽高度が低いため、日射は室内に侵入し、床を暖めます。溜まった空気は上昇し、上部の冷たい空気を下へと押しやることで、室内の空気の循環がおこります。



#### 開口部

外壁開口部には、遮熱性能に優れた、ガラスとガラスの間に空気層のある遮熱Low-E複層ガラスサッシを採用しています。

#### 床板

床板には40mmのひのき無垢材（ハイブリッドの場合は杉板）を使用しています。肌触りが良く、暖かみがあり、部屋いっしょに暮らせます。

ひのきづくし仕様

ハイブリッド仕様



※節付きの表情豊かな本材を使用しています。

#### 吹き付け断熱

筋交いの裏側や、金物の隙間などの手の届かない場所でも、隙間なく断熱材を施工できる吹き付け断熱を採用しました。壁全体を魔法瓶の壁に包み込み、外気温の影響を防ぎます。また、気密性に優れ、外部の騒音も効果的に遮断します。



### 加子母子屋に来てみませんか？

加子母子屋のモデルハウスは、その時々で、室内のレイアウトを変え、毎回、違った加子母子屋をお見せできます。

その可変性、ひのきの香り、暖かみのある雰囲気。是非、ご体感して頂きたいと思っています。

加子母子屋での暮らしをイメージしてみてください。

### 加子母子屋に住まうまで。

ショールームに足を運んで頂いて、加子母子屋での暮らしをイメージして頂けたでしょうか？

しかし、実際にどんな手順で家づくりは進んでいくのでしょうか？ そんな疑問をお持ちの方も少なくないでしょう。

夢をふくらます設計段階から、夢のマイホームの完成、お引き渡しまでの流れやそれにかかる期間を、わかりやすくご紹介します。

#### 設計（標準2カ月以内）

第1段階	第2段階	第3段階
<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前情報整理</li> <li>1) 敷地情報（※1）</li> <li>2) 施主様要望調査</li> <li>3) 法規適合確認</li> <li>4) 適正チェック（※2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼンテーション</li> <li>1) 基本図作成</li> <li>2) 内外断熱・フェース作成</li> <li>3) 各視点パース作成</li> <li>4) 工事御見積書提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工事準備開始</li> <li>●設計・工事請負契約</li> <li>●建築確認手続き</li> <li>1) 確認申請図面作成</li> <li>2) 確認申請業務</li> </ul>
／ここまでは無料（※3）		

#### 工事（標準4カ月）

1カ月目	2～3カ月目	4カ月目
<ul style="list-style-type: none"> <li>●躯体工事</li> <li>1) 基礎工事</li> <li>2) プレカット工事</li> <li>3) 設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建て方・造作工事</li> <li>1) 建て方工事</li> <li>2) 屋根・サッシ工事</li> <li>3) 造作工事</li> <li>4) 外部左官工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仕上げ工事</li> <li>1) 内部左官工事</li> <li>2) 木製建具工事</li> <li>3) 木製家具工事</li> <li>4) 設備工事</li> </ul>
★地鎮祭	★上棟式	★お引き渡し

（※1）候補地選びからのお手伝いも可能です。  
 （※2）ご予算や与条件が、加子母子屋で対応可能かどうかを判断します。  
 （※3）第2段階の最初のプレゼンテーション以降も、業務を続ける場合、プレゼンテーションで用いた図面やパースの授受を希望される場合は、設計契約、若しくは工事請負契約を結んで頂くこととなります。







あつと人の(3月)



新工場の建設現場の様子

出しても来てくれない。これ... 加子母は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町...

加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町...

それは加子母だからこそ できる力強さだ!!

木と木造住宅にかける情熱



中島 平秋(むらたけ へあき) 加子母町(中島)に生まれ、加子母町で育ち、加子母町で働く。加子母町で働く。加子母町で働く。加子母町で働く...

加子母町の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町...

加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町... 加子母の町は、加子母の町...

中島 平秋(むらたけ へあき) 加子母町(中島)に生まれ、加子母町で育ち、加子母町で働く。加子母町で働く。加子母町で働く...

東濃檜で家づくり

# 産直住宅

桧の香りに囲まれた  
中津川の「木の家」

山を知る。

木を知る。

大工を知る。

中津川産直住宅のホームページ

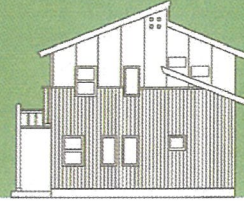
▶ <http://ひのき.com>

中津川木構造促進協同組合 産直住宅部会 / TEL0573-66-2528 坂下町ひのき住宅建築業組合 / TEL0573-75-2184

東濃福岡の家建築協同組合 / TEL0573-72-4101 付知峡ひのき建築協同組合 / TEL0573-82-4554

かしもひのき建築協同組合 / TEL0573-79-3297

# 家を建てるなら 桧の香りに囲まれた 中津川の「木の家」



## Stage1 山を知る。



### 百年桧の森が育んだ木で こだわりの家建てる贅沢。

家はあなたとあなたの家族の大切な場所。だから「材」にもこだわって欲しいのです。家の柱となる東濃桧の山を訪ねてみませんか。木を育んだ山が、百年桧の森が、そして森を守る人たちが、あなたを出迎えます。ざっとこの森が、あなたのもうひとつの故郷になるでしょう。



## Stage2 木を知る。

### 1本1本個性が違う木。 その個性を生かす木取りを する、製材職人の技。

山から伐り出された東濃桧は原本市へと運ばれています。桧の切り口と楕皮の状態、木の状態を見極めます。木は生鮮品。木材として最もよい状態を維持しながら木材にするか。東濃桧を知り尽くした製材職人の腕の見せ所です。



木を挽いた瞬間、目に飛び込む美しい年輪模様。木肌がピンク色に輝き、中津川の山々で大切に育てられた東濃桧だけが持つ特徴です。東濃桧が建築用材木に育つまで約80年。人の人生と同じ長さを育ててきた木だから、大切に、無駄なく製材をしています。

## Stage3 大工を知る。

### 住めば住むほど 「こういう家に住みたかった」 と思うんです。

木の家は、住めば住むほどその住み心地のよさが実感できます。日本人には木の家がよく似合います。「せっかく東濃桧を使うのだから、隠してしまってもったいないですよ」というアドバイスで、天井の梁を出したデザインにしました。「木の家は呼吸している」といけれど、座っていると、家の息遣いを感じます。家の息遣いを聞いていると、冷暖房器具をあまり使わずに自然のまま生活したいなあと思うんです」。住めば住むほど「住み心地のよさ」を実感する家。それが中津川東濃桧産直住宅です。



### 産直住宅の 建築設計コンペを紹介

建築主さん1人に4名の建築士が設計を提案。実例を紹介しています。



詳しくは中津川産直住宅ホームページ

▶ <http://ひのき.com>

お問合せ

中津川市産直住宅振興会(中津川市役所林業振興課内)  
0573-66-1111(内線243)



中津川市  
産直住宅  
振興会

東濃松で家づくり

山を知る  
木を知る  
大工を知る



中津川は日本の建築用材の最高峰といわれる

## 東濃ヒノキの原産地



中津川には、  
木を知り、山を知る  
大工がいます。

木の家づくりを考えてみえるなら

「山を知る」

「木を知る」

「大工を知る」

この3つの「知る」が大切です。

材料となる木が、

どこで、

どのように、

誰が育てたのか。

誰が伐って、

誰が加工して、

誰が建てるのか。

中津川の産直住宅には、

その「顔」が見えます。

われわれ中津川の職人は

責任を持って家づくりを行います。

### 中津川市産直住宅振興会

中津川木構造促進協同組合 産直住宅部会  
〒508-0001 中津川市中津川字子野963-8 TEL0573-65-3113

坂下町ひのき住宅建築業組合  
〒509-9232 中津川市坂下854-9 中津川北商工会坂下支所内 TEL0573-75-2184

東濃福岡の家建築協同組合  
〒508-0203 中津川市福岡720-1 中津川北商工会福岡支所内 TEL0573-72-4101

付知峡ひのき建築協同組合  
〒508-0340 中津川市付知南8581-1 TEL0573-82-4554

かしもひのき建築協同組合  
〒508-0421 中津川市加子母3900-1 中津川北商工会加子母支所内 TEL0573-79-3297

ひのき.com

産直住宅 / ホームページ **NEW**  
<http://www.ひのき.com/>

山を知る  
木を知る  
大工を知る

中津川市  
産直住宅  
振興会  
真摯な気持ちで

中津川木構造促進協同組合 産直住宅部会

〒508-0001 中津川市中津川字野963-8 TEL0573-65-3113

会社名	住所	電話(0573)
(株)吉川工務店	中津川市小川町2-8	66-5400
(株)広和木材	中津川市千旦林446	68-5050
(株)ハラモク	中津川市駒場町1-78	65-5171
(有)平井建築	中津川市駒場町1666-377	66-0605
(有)丸西製材所	中津川市阿木4307-1	63-2020
丸山木材工業(株)	中津川市東宮町1-2	66-2155
(株)桃井建設	中津川市駒場2番地	66-2013
(株)吉村建設	中津川市駒場字松源寺1058-38	66-3138

坂下町ひのき住宅建築業組合

〒509-9232 中津川市坂下854-9  
中津川北商工会坂下支所内 TEL0573-75-2184

会社名	住所	電話(0573)
石橋建設(株)	中津川市坂下1686-1	75-2171
(有)小畑建築	中津川市坂下1766-1	75-4033
鎌田建築(株)	中津川市坂下3204-1	75-2396
共和木材工業(株)	中津川市坂下872-1	75-2071
坂下建設(株)	中津川市坂下953-6	75-2214
ハラ建設(株)	中津川市坂下2496-2	75-2511
原亨建築	中津川市坂下143-2	75-3212
(有)マルカ建築	中津川市坂下1602-2	75-2559
吉村攻玉建築事務所	中津川市坂下491-3	75-2410

東濃福岡の家建築協同組合

〒508-0203 中津川市福岡720-1  
中津川北商工会福岡支所内 TEL0573-72-4101

会社名	住所	電話(0573)
(株)岡山工務店	中津川市福岡685-1	72-2100
大前建築	中津川市田瀬176-199	72-3815
三浦建築	中津川市田瀬1466-14	72-3575
小林建築店	中津川市高山1224	72-2657
長瀬建築	中津川市福岡2014	72-2526

付知峡ひのき建築協同組合

〒508-0340 中津川市付知町8581-1 TEL0573-82-4554

会社名	住所	電話(0573)
安江工務店	中津川市付知町4007-1	82-2448
田口建設	中津川市付知町7674	82-2873
マルマン建築	中津川市付知町7711-10	82-2465
北原建築	中津川市付知町7729-2	82-3751
(株)伊藤木材店	中津川市付知町4944-2-1	82-2325
(株)加地工務店	中津川市付知町6054	82-4131
(株)早川工務店	中津川市付知町9793	82-3600
(株)田口建設	中津川市付知町9595-1	82-2497
(有)マルカ林産	中津川市付知町1927-3	82-3750
(有)サン住建	中津川市付知町2752-2	82-3444
(有)丸一製材所	中津川市付知町6139-2	82-2067
早川建築事務所	中津川市付知町5663	82-3843
(有)山下製材所	中津川市付知町2797-1	82-3115
(有)中倉製材所	中津川市付知町11247-9	82-2069
河村建築	中津川市付知町11062-2	82-3430
丸博建築	中津川市付知町3113-1	82-2004
(有)原建築	中津川市付知町11372	82-3632
加地建築設計事務所	中津川市付知町5763-2	82-4373
青木建築	中津川市付知町3050-1	82-2062
松 建	中津川市付知町11099-8	82-4364
美好建築	中津川市付知町11811-3	82-4324
丸富建築	中津川市付知町11097-12	82-3320

かしもひのき建築協同組合

〒508-0421 中津川市加子母3900-1  
中津川北商工会加子母支所内 TEL0573-79-3297

会社名	住所	電話(0573)
(有)脇工	中津川市加子母3537-7	79-3838
(株)辰喜建築工芸	中津川市加子母1858-4	79-2590
田口土木(株)	中津川市加子母4639-2	79-2244
(株)熊澤建築事務所	中津川市加子母3824	79-2875

東濃ひのきで家づくり

ご用命、お問い合わせは、お近くの組合か工務店、  
または中津川市産直住宅振興会(中津川市役所林業振興課)まで、  
お気軽にご相談下さい。  
0573-66-1111(内線243)

詳しくは  
ホームページをご覧ください。



東濃ひのきと飛驒の杉の家づくり支援事業

# 東濃ひのきと飛驒の杉など 木を使った家づくり

## 最大50万円まで支援

中津川市の東濃ひのきと高山市の飛驒の杉を利用した、  
両地域の素材の良さを組み合わせた、理想の木の家づくりに対し、支援します。



中津川市  
東濃ひのき

美しさや香り、強さと粘りなど  
特長のある「東濃ひのき」



高山市  
飛驒の杉

飛驒地方の厳しい環境の中で、  
長い年月をかけて育った「飛驒の杉」

### 補助制度の概要

建築主	国内に住所を有する個人又は法人
補助要件	主な構造材使用量のうち全体の60%以上が中津川市及び高山市産材であること
補助対象材	土台、束、大引、通柱、管柱、梁、桁、胴差、母屋、棟木、隅木（ただし、火打を除く）
補助内容	中津川市 + 高山市産材 使用量 1m <sup>3</sup> あたり 2万円



### 主な事業の流れ

- 1 申請者は、市へ事前申込書を提出
- 2 市は、書類確認後、申請者へ事業認定を通知
- 3 申請者は、入居された後に市へ事業の交付申請書を提出
- 4 市は、書類を審査し、申請者へ交付決定を通知
- 5 申請者は、市へ補助金の請求書を提出
- 6 市が、補助金を指定された口座へ振込み

東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業

Q & A

## Q 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業ってなに？

『東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業』とは、中津川市と高山市が連携して「中津川市産材」と「高山市産材」を使った家づくりをされた方に対し、構造用木材1㎡あたり20,000円の補助をさせていただきます。（※上限 新築：500,000円 増改築：200,000円）

Q 誰が建てても補助金は出るの？

個人、法人は問いません。

Q どこに建てても補助金は出るの？

日本国内に建てた住宅等が対象です。

Q どの業者さんが建てても補助金は出るの？

中津川市または高山市内に本店または支店、営業所のある業者さんが建築する木造建築物が対象です。

Q 建物の種類は決まっているの？

住宅、別荘、店舗、事務所等、木造の建築物であれば対象になります。

Q 全部中津川市産材のみ、または高山市産材のみで建てた時は補助金は出るの？

全部同じ市産材で建てた場合は補助金は出ません。主な構造材の60%以上に中津川市と高山市の両市産材を使用した物件が対象です。

Q いつ建てた物件でも対象になるの？

平成28年6月1日以降に木工事に着手した木造建築物が対象です。木工事に着手後30日以内に事前申込みをしてください。

Q 補助金の申請書はどこに出せばいいの？

中津川市の業者さんで建てられた場合は中津川市へ、高山市の業者さんで建てられた場合は高山市へ提出してください。

※着手前に一度ご相談下さい。

問い合わせ

中津川市役所 農林部 林業振興課

中津川市かやの木町2番1号  
TEL 0573-66-1111 (内線243)

高山市役所 農政部 林務課

高山市花岡町2丁目18番地  
TEL 0577-32-3333 (内線2234)  
(平成28年7月)





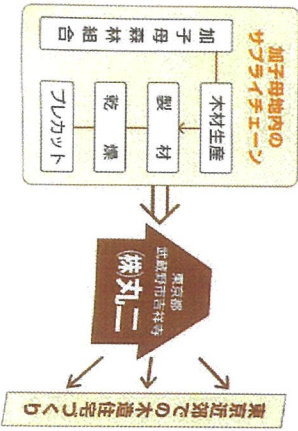
SGEC森林認証林 (平成21年12月取得)

森林認証制度とは、森林が適正に管理されていることを中立的団体第三者が客観的に評価し、社会にその価値を認めもらう制度です。加子母では「緑の循環」認証を推進 (Sustainable Green Ecosystem Council) の認証を受けたSGEC認証林が、4,672haを占めています。持続可能な森林管理により、生物多様性に富み、水と土壌を保護し、気候化防止に役立つ炭素ストックを蓄めています。

丸二・農工商連携「認定」事業

複層林を育てる産地直送「緑ひのき木造住宅」販売システム開発

農工商連携とは、農林業業者と商工業業者等が協力し合ってお互いの強みを生かし、新たな商品・サービスを開発して利益や売上を増加を目指す取り組みのことです。加子母森林組合は東京都武蔵野市の株式会社丸二と連携し、産地直送「緑ひのき住宅」に使う「ひのき材」を丸二に供給します。産葉や経路の集約化、生産から加工まで、加子母内でひととまとめることでコストダウンを図り、「緑ひのき」の家は幅広いというイメージを払拭。都心の人に変らざるをえる炭素ストックを自給します。加子母の木材が使われることで山にお金が回り、四世代間森林の整備に役立てることができます。平成21年度～23年度の補助事業で連携ストックを積み、終了後も都府県と産地を連結する大規模化を目指します。



加子母森林組合の紹介

1. 組合の概要

- ◆ 名称 加子母森林組合 (Kachimoto Rinko Kai)
- ◆ 設立 昭和3年10月 加子母森林組合農工森林組合  
昭和27年3月 加子母森林組合 (名称・発祥変更)  
平成17年3月 加子母森林組合 (名称変更)
- ◆ 組合員数 927人 (平成22年12月現在)
- ◆ 出資金 75,535,200円
- ◆ 役員数 10名 (理事7名・監事3名)  
常勤1名・職員兼職2名
- ◆ 職員数 34名 (事務職10名・技術職18名)  
(常勤16名・6名)
- ◆ 所在地 〒508-0421 岐阜県中津川市加子母4872-5  
TEL 0573-79-3333 FAX 0573-79-3311  
URL <http://www.fakashimo.jp>

2. 地域の概要 (東美濃の産地 岐阜県中津川市加子母)

地域内総面積	11,426ha	
地域内森林面積 (総面積の93.5%が森林)		
公有林	5,047ha	47%
私有林	1,577ha	15%
計	6,624ha	38%
内	10,874ha	100%
原野等	74ha	1%
自然林面積	1,43ha	26%
人工林面積	3,436ha	61%
その他	674ha	12%
人工林計	4,110ha	(73%)
SGEC森林認証林	4,672ha	

加子母森林組合

〒508-0421 岐阜県中津川市加子母4872-5  
TEL 057379-3333 FAX 057379-3311  
URL <http://www.fakashimo.jp> Email [info@fakashimo.jp](mailto:info@fakashimo.jp)

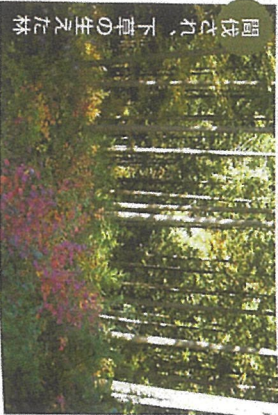


# びりんばんんせい これをたやさず 美林萬世之不滅

この碑は、加子母地内出之小路にある「神宮美林」を手本とし「美しい循環型の森林」をつくり、将来にわたって語り育ていく意志を表した碑です。



樹をたやさず



樹伐れ、下草の生えた林

加子母森林組合が管理する山は、同世代の木が並ぶ林ではなく、大きささまざまな木が育つ「複層林」。山ごとに四世代（100年生、70年生、40年生、10年生…）の木が繁り、草花や木の実がふられ、小鳥や動物、昆虫が遊び、豊かな水を育む森を目指し、整備しています。

## ■加子母森林組合が目指す森林

- ☆地球温暖化防止に貢献する森林
- ☆多様な動植物の棲み家となる森林
- ☆風い木材のとれる森林
- ☆水源涵養など、公益的な役目を果たす森林
- ☆自然に親しむ野外教育、レクリエーションの場としての森林

## 指導事業

1. 森林管理・育民・林地の活用、山林経営等のコンサルティング
2. 組合の取組・木材市況・林業技術等の情報発信
3. 各種イベントでの展示販売等による森林の大切さ、国産材のPR
4. 中高生の職場体験・大学等の学術調査・研究の協力・後継者育成

## 森林整備事業

1. 造林・保育などの森林整備
2. 森林整備に必要な道路（林道・作業道）の開設や維持管理
3. 森林キャンプ場、貸しコテージの運営



遊歩林の下刈り

森林キャンプ場

## 購買事業

1. 山林担畜等の納税
2. 林業資材・機械の納税
3. 林業機械の点検・修理



林業物資購買品の展示コーナー

## 販売事業

1. 木材の伐採や市場への運搬
2. 木材市場の運営
3. モノモノセンターの運営



小学生林業教室

企業からの研修受け入れ

## 加工事業

1. 木工品の製作（学童机、椅子、木製風鈴等）
2. ヒノキ葉の成分抽出
3. 間伐材（小径木）の加工
4. グリケット（木屑を圧縮した薪）の加工



森林組合 木材市

組合の製炭モノモノセンター



木くず利用の燃料（グリケット）



学童机の組み立て



ヒノキ葉加工施設



年輪の目と笑みとにこだわって、70年以上たった東郷藩の山でも手で挽く「輪田産製材所」。度ば木工用の削り材の屑にも、樹材もやもひや曲げわっかにと製材所で活用する。

【「養蚕世」のはじり】  
昭和三十七（一九六二）年には松葉養蚕師を迎えて「林業研究会」（現在は「加子母産量生産クラブ」と改定）が有志をつくる。その三年前には本村町つづらて、その後その経営は養蚕世に整理が移せられた。  
本町の産額がよかつた昭和三十四（一九七九）年頃までの加子母養蚕世は、「養蚕世の良質樹を出す本村産」として各が通つていた。本村産樹が下がらされて、他産樹がなされてきた。  
昭和三十六（一九八一）年は、加子母村（当時）内の建築会社が「加子母のきよ産製材組合」をつくり、共同戦々を開始した。加子母村内で、各戸や別荘や近隣の建ちよの元へかわ

【「養蚕世之不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

**緑の時代、をつくるために**

「養蚕世之不滅」の山づり

岐阜県 加子母森林組合  
天野 礼子

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。

【「養蚕世の不滅」】は、昔から大切にまもってきたこのあたりの「山づり」の構想を二〇〇一年に加子母森林組合事務の内木篤志（たけあき）さん激化にされたものだ。  
加子母地方は土の養蚕に選んでいたために、養蚕時代は歴史のあたりを養蚕関係の一族に「山づり」をまもっていたこと、ヒノキ・サシノ・マコト・メタコ・メタコ・メタコ・五米は明治前まで採採が禁止されてはばと、山は本村のものとしてあつかわれてきた。



一帯（山づりの山）を「山づり」とし、年代の異なる木が同居する山づりであることを示しているのが加子母の特色。黒た目も美しい、明るい山だ。

